

令和7年度 ちよだ生物多様性大賞受賞者活動概要

項目/NO	1
応募者	玉井 貴将（たまい たかまさ）【小学校6年生】
活動名	小学生が作った千代田区いきもの図鑑
活動場所	千代田区全域
規模	2名
頻度	通年
開始時期	2021年4月
継続年数	5年間
目的	2021年から2025年にかけて千代田区内でフィールドワークを続けてきて、分かった事をこの図鑑にまとめました。この図鑑を見た方が、少しでも千代田区の生き物に興味を持ってもらえると嬉しいです。
活動概要	5年間にわたる千代田区内のフィールドワークで見つけたたくさんのいきものの中から、厳選した100種類を図鑑としてまとめました。写真や説明に加え、見つけた日付や、見つけやすい時間帯と天気、レア度など、千代田区でいきもの探しをするときに役に立つ情報を載せています。少しでも多くの子もたちが、千代田区の豊かな自然やいきもの達に興味を持ってくれるようにと思って作りました。
具体的な活動内容	2021年～2025年の5年間にわたり、小学生が千代田区のフィールドワークを通じて見つけたいきもの達を写真つきの図鑑にまとめました。図鑑には100種類のいきものが分類・掲載されていて、楽しみながら千代田区のいきものについて知ることができるよう、工夫しました。
応募日	令和7年10月10日

項目/NO	2
応募者	石田 晴基（いしだ はるき）【小学校5年生】
活動名	ハイイロゲンゴロウをさがせ
活動場所	千代田区および都内
規模	3名
頻度	通年
開始時期	2024年7月
継続年数	1年間
目的	都市部におけるハイイロゲンゴロウの生息に必要な条件を探す
活動概要	生成 AI の目視機能でインターネット上にある航空写真やストリートビューなどの画像を解析して、ハイイロゲンゴロウがすめる条件から生息候補地をリストアップしました。また自身の過去の発見地点をフィードバックして条件をより綿密に精査しました。さらにリストにある地点を実地調査し、都市での生息に必要な環境を探ります。
具体的な活動内容 (抜粋)	（別用紙「ハイイロゲンゴロウをさがせ」から抜粋） 2024 年から水生昆虫を探し始め、航空写真から池や水辺を見つけて、そこで水生昆虫探しをしていました。2024 年 9 月 8 日に日比谷公園の大噴水で初めてハイイロゲンゴロウを多数見つけることができ、とても驚きました。ところが 10 月 6 日に再び行くと噴水は掃除され、マツモムシしかいなく、もっとゲンゴロウを見つけるために、よりよい方法を考えたいと思うようになり、活動を進めました 生成 AI で都市部におけるハイイロゲンゴロウの見つけやすい条件を整理し、「目視」機能で条件に合う場所をリストアップして現地の確認をしました。より詳しい条件が分かれば、すみかの保護や新しい生息環境づくりにも役立つかもしれません。今後はこの活動で得たことをもとに、水温・気温なども記録しながら、さらによりよい方法を考えていきたいです。
応募日	令和7年11月28日

(別紙) 令和7年度 ちよだ生物多様性大賞 添付資料 (一部抜粋)

項目/NO	1
応募者	玉井 貴将 (たまい たかまさ) 【小学校6年生】
活動名	小学生が作った千代田区いきもの図鑑

小学生が作った
千代田区いきもの図鑑

これで君も千代田区自然探検隊、
一緒に自然を探検しよう!

2025年度版
作: 玉井貴将 (たまい たかまさ)

目次

鳥のなまえ	は虫類・両生類	甲虫	チョウのなまえ	
1. コサギ	11. ミシシッピアカミミガメ	22. カブトムシ	33. センゴウガ	42. ミヤマカラスアゲハ
2. アオサギ	12. ヒゲシニホトカゲ	23. ノコギリクワガタ	34. クヌバヒメバチ	43. アゲハ
3. ハイタカ	13. ニホンカマドビ	24. ミヤマクワガタ	35. コマダラカミキリ	44. アオスジアゲハ
4. カワセミ	14. ニホンヤモリ	25. コクワガタ	36. アカシモンカミムシ	45. キアゲハ
5. ハクセキレイ	15. シマヘビ	26. オオクワガタ	37. アマムシ	46. フクロビロコメソウ
6. ムクドリ	16. アオダイショウ	27. ハナムグリ	38. ホソリカメムシ	47. ムクドリ
7. メシロ	17. トビ	28. シロフチハナムグリ	39. テンシツボムシ	48. オオミスズメ
8. カウ	18. トビ	29. コバカガシ	40. ナメシツボムシ	49. フカボシゴマダラ
9. コハクチョウ	19. アズマモキギエル	30. ホシホトタシ	41. ヤサカミキリ	50. クロアゲハ
10. キジバト	20. ウラギエ	31. ツミ	42. カミキリ	51. モンシロチョウ
	21. ニホンツバメ	32. アオカミキリ		52. ヘナシラミ
				53. イチモンシセセリ

ハシタナミ	魚・水中の生き物	トンボ・セミのなまえ	哺乳類	鳥のなまえ
54. オオカミ	66. モリウツギ	74. キンノコ	83. イヌコ	91. アマガシ
55. ヒメウツギ	67. コナギ	75. ヤブヤモリ	84. フタズミ	92. ヒメスズメの幼虫
56. コナギ	68. ヒメコナギ	76. オオカミ	85. ハクビシ	93. モクシロヤチ
57. ショウリウバツ	69. ヨウジ	77. オオイトトンボ		94. ミミズ
58. オオバツ	70. カニ	78. クサカゲロウ		95. トウモロコシ
59. クサカゲロウ	71. スズメ	79. ミンミンゼミ		96. コマダラ
60. トウモロコシ	72. ヨシノボ	80. コマダラ		
61. ナツメ	73. アメリカザリガニ	81. アブラゼミ	86. キセキレイ	97. マラカシの幼虫
62. ニホンツバメ		82. ニイニイゼミ	87. カササギ	98. イラガの幼虫
63. トナリナツ			88. コガネ	99. チャドクガ
64. クサカゲロウ			89. ミスジカゲロウ	100. ムカデ
65. コナギ			90. アサギカゲ	

1. コサギ

2. アオサギ

3. ハイタカ

4. カワセミ

「小学生が作った千代田区いきもの図鑑」の一部抜粋

図鑑には、写真や説明に加え、見つけた日付や、見つけやすい時間帯と天気、レア度などが整理されている。

項目/NO	2
応募者	石田 晴基 (いしだ はるき) 【小学校5年生】
活動名	ハイロゲンゴロウをさがせ

別用紙「ハイロゲンゴロウをさがせ」の一部抜粋

ハイロゲンゴロウをさがせ

石田晴基

この活動を始めたきっかけ

ぼくは昆虫の観察が好きで、2024年から水生昆虫を探し始め、航空写真から池や水辺を見つけて、そこで水生昆虫を探していました。2024年9月8日に日比谷公園の大噴水で初めてハイロゲンゴロウを多数見つけることができ、とても驚きました。ところが10月6日に再び行くと噴水は掃除され、マップも少ししかなく、もってゲンゴロウを見つけるために、よりよい方法を考えたいと思うようになり、次の活動(1~8)を進めました。

2024年 日比谷公園の大噴水にいたハイロゲンゴロウとマップ

- よりよい方法を考える
- ゲンゴロウのいるところについて考える
- まず図鑑で調べて、生成AIに聞いてみる

- これまで調べたことや知っていることを元に聞いてみる
- 生成AIの「目視」機能を使って場所を聞いてみる
- 生成AIが導き出した場所を見つけやすい順に点数化してみる
- 台東区のスポット・リストにある場所に行ってみる

上野恩賜公園・竹の広広場 大噴水

別紙「生成AIとの対話記録」の一部抜粋

別紙 生成AIとの対話記録

①ハイロゲンゴロウの都市部での生息条件を教えてください。

思考時間: 24s

了解です。ハイロゲンゴロウ(Eretes griseus)が都市部で暮らせる(見つけやすい)条件を、研究・博物館・自治体の情報をもとに要点でまとめます。

都市部での生息条件(要点)

- 止水があること: 池・水田・ビオトープ・大きな水たまり・屋外プール・噴水・側溝など、流れの弱い「たまった水」をよく使います。都市の人工水域でも普通に見られます。【足立区生物園】+1
- 富栄養で水草が少なめでOK: 富栄養化した水域や、水生植物が少ない環境を好む(=「きれいで自然度の高い池」でなくてもよい)。digital-museum-hiroshima-u.ac.jp
- 水質への耐性が高い: 他の大形ゲンゴロウ類がないような「汚れた池」「荒地の水たまり」「学校プール」等にも生息が報告されています。media.niche-life.com
- エサ資源(ボウフラ等)が豊富: 都市環境で発生するボウフラを主要な餌として利用できます。media.niche-life.com
- 上陸・孵化にわずかな土があれば可: 護岸がコンクリートでも、隣に少し土が堆積していればそこで孵化できると考えられています。media.niche-life.com
- 高い分散力(飛来): 一時的な水たまりやビル街でも個体が飛来して利用する例があり、都市内で点在する水域を渡り歩きます。灯火にもよく飛来。media.niche-life.com
- 季節性: 成虫の出現期は概ね春~秋(9-10月)、越冬は水中。神戸新聞+1

都市で「居つきやすく」する管理ヒント

(上の性質から導かれる実践ポイント)

- 小さくても止水をキープ: 浅い棚のある池・プランター池・雨水だまりでも可。完全排水や頻繁な空水交換は避ける。【足立区生物園】+1
- 魚は入れない: メダカ等の小魚は卵や幼虫の捕食圧になるため、「魚なし水域」を一部確保。※一般論ですが、都市のビオトープ運用でも推奨されます(本種は魚の少ない一時水域も利用)。media.niche-life.com
- 護岸に「土のバツ」を残す: 護岸が固い場合でも、角やポットで土ゾーンを確保すると孵化場所になり得ます。media.niche-life.com
- 水草は「減ら」でOK: 本種は水生植物が少ない・富栄養な環境にも適応。沈水・浮葉植物は入れすぎず、開水面を広げます。digital-museum-hiroshima-u.ac.jp
- 殺虫剤は避ける: ボウフラ駆除の薬剤はエサ資源や本種のものにダメージ。物理的な駆除(トラップ・網など)を優先。
- 夜間の誘引も一手: 近傍に明かりがあると飛来個体の着水・休息を助ける可能性があります(灯火に飛来の記述あり)。media.niche-life.com

都市での事例(参考)

- 都心・池袋の路上水たまりでも繁殖: ビル街の極小水たまりを一時的に利用した事例。周囲の学校プールや屋上庭園など人工水域を介して移動している可能性が示唆。media.niche-life.com
- 市街地の噴水・側溝での観察報告: 都市化に順応し、コンクリート護岸の水域でも見られる。神戸新聞
- 自治体生物園の解説: 足立区では「大きな水たまり」や「屋外プール」で観察されると案内。【足立区生物園】